

令和6年度事業報告

内閣府によると、令和6年度の我が国経済動向は、長きにわたったコストカット型経済から脱却し、デフレに後戻りせず、「賃上げと投資が牽引する成長型経済」に移行できるかどうかの分岐点にあるとしています。国内の経済は、緩やかな回復を続けていますが、市内中小企業は原材料費や輸送費用、人件費が幅広く上昇するなど依然として厳しい状況にある中、市工連では、40周年記念式典をはじめ各事業を実施してまいりました。

まず、販路拡大支援のための工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ2025」については、リアル展示において出展者が増加し、加えてWebサイト内展示も実施し、利用者の利便性の向上を図りました。

人材確保支援では、高校生の採用支援のための「就職に関する懇談会」を実施するとともに、新規事業として新入社員の増を図るためのPR動画作成支援事業を実施しました。

第37回「新入社員合同研修」を帆船日本丸において実施し、2日目にはコロナ禍以降実施できなかったカッター訓練も実施しました。その後、新入社員フォローアップ研修を実施し、人材育成に取り組みました。ものづくりへの理解を深めてもらうための出前講座と工場見学は、会員企業様のご協力で実施することができました。

会員企業の交流の場としては、市工連設立40周年講演会及び式典祝賀会を新年賀詞交換会の時期に合わせロイヤルホールヨコハマで盛大に開催するとともに、環状南線を視察する施設見学会を実施しました。

施設管理については、横浜産貿ホールの小展示室のエアコンを更新し、鳥浜T3でも事務室部分のエアコンの更新を行いました。また、横浜産貿ホールについては、大口リピーターの撤退や利用日数、利用形態が縮小により減収となりました。

I ものづくり活性化事業

1 販路拡大事業

(1) 商談会の開催

ア	六都府県オンライン商談会	※オール神奈川受・発注商談会は今年度開催なし
日 時	令和7年3月3日(月)～3月14日(金)	
主 催	公益財団法人東京都中小企業振興公社、公益財団法人神奈川産業振興センター、公益財団法人あいち産業振興機構、公益財団法人大阪産業局、公益財団法人ひょうご産業活性化センター、公益財団法人福岡県中小企業振興センター ※都道府県単位での募集	
協 力	(一社)横浜市工業会連合会	
参加社数	440社(前年度:270社※オール神奈川受・発注商談会2023) 発注:73社うち神奈川県内企業16社(前年度:37社/16社※) 受注:367社うち神奈川県内企業81社(前年度:203社/56社※)	
商談件数	400件(前年度:344件※)	
内 容	事前マッチング方式によるオンライン商談を実施	

イ 受・発注商談会 in テクニカルショウヨコハマ2025

日 時	令和7年2月5日(水)12:50～16:50
会 場	パシフィコ横浜2F アネックスホール

主催	神奈川県、(公財) 神奈川産業振興センター、横浜市、(一社) 横浜市工業 会連合会、川崎市、(公財) 川崎市産業振興財団、横浜信用金庫
参加者数	290 社 (昨年：340 社 ※九都県市商談会) 発注：75 社うち横浜市内企業 19 社 (昨年：113 社/16 社※) 受注：215 社うち横浜市内企業 54 社 (昨年：227 社/56 社※)
商談件数	660 件 (昨年：851 件※)
内容	テクニカルショウヨコハマ 2025 と同時開催

(2) 「テクニカルショウヨコハマ 2025」(第 46 回工業技術見本市)

ア 開催概要

- (ア) 開催期間 リアル展示：令和 7 年 2 月 5 日 (水) ～ 2 月 7 日 (金)
出展者 PR ページ掲載：令和 7 年 1 月 14 日 (火) ～ 2 月 28 日 (金) ※
- (イ) 会場 リアル展示：パシフィコ横浜展示ホール A・B・C
出展者 PR ページ：公式ホームページ
- (ウ) 出展規模 810 社・団体 (前年度：807 社・団体)
- (エ) 入場者数 17,602 人 (前年度：18,176 人)
- (オ) 出展者 PR ページ アクセス者数 25,937 名
ページビュー数 745,328 ページ 出展者 PR ページ掲載※

イ 横浜ものづくりゾーンの開設

横浜市や各区が実施する中小製造業振興のための様々な施策の紹介や、その施策を活用した企業の技術を周知することを目的に、テクニカルショウヨコハマ 2025 に「横浜ものづくりゾーン」のコーナーを設け、団体として出展しました。

出展企業 81 社・団体 (前年度：73 社・団体)
(個別応募企業：25 社、メイドインつづき：29 社、横浜市販路開拓支援事業認定企業：2 社、横浜青年経営者会：10 社、LINKAI 横浜金沢 12 社、行政関連：3 団体)

(3) 受発注相談 (電話・FAX・E メール等による受発注相談)

(4) 横浜ネットワークプラス (受発注情報システム) の運営
受発注企業検索ができるシステムを運営しています。

2 ものづくり人材育成支援事業

(1) 新入社員合同研修

企業の新入社員を対象に、講義やグループワーク、「帆船日本丸」における実践訓練を通し、新入社員のチャレンジ精神や協調性などを養い、企業の将来を託せる人材の育成を図りました。カッター訓練については 5 年ぶりに再開しました。

ア 日時 令和 6 年 4 月 4 日 (木) ～ 5 日 (金) 1 泊 2 日

イ 会場 帆船日本丸及び同訓練センター

ウ 参加者 8 社 35 名 (男性 31 名、女性 4 名) (前年度：10 社 32 名)

- エ 内容 ① 船上訓練 (甲板磨き、マスト登り、船首渡り、結索訓練)
指導者：日本丸船長、航海士、乗組員
- ② 講義、グループワーク
ビジネスマナー研修等を通し社会人としての意識を持つ
講師：株式会社パワー・アイ 佐々木 富美子氏
- ③ 講義「社会人として最低限守るべきこと」
帆船日本丸船長 村田 信氏

(2) 新入社員フォローアップ研修

入社後を振り返り、自分の強みや課題を客観的に認識し前向きなマインドを構築するとともに、他社の同年代の人たちと交流することを目的に、新入社員フォローアップ研修を実施しました。

- ア 日 時 令和7年2月19日(水) 9:00~17:00
- イ 会 場 産貿ホール小展示室
- ウ 参加者 3社 5名(男性3名、女性2名)(前年度:5社 7名)
- エ 講 師 株式会社パワー・アイ 佐々木 富美子氏
- オ 内 容 ①入社後の自身の振り返り(自分の仕事の進め方の再認識)
②入社後の職場の振り返り(仕事の問題点の克服と共有)
③クレーム対応の実践(ビジネスマナーに基づく話し方の再認識)
④ハイポイントインタビュー(自身の強み、課題を客観的に認識)
⑤「信念の言葉化」、「自分なりの良い仕事」の意味づけの明確化

(3) 就職に関する懇談会の開催

高校生等の市内中小企業への就職を促進するため、県立高校等関係者と企業との就職に関する懇談会を横浜市、ハローワークとの共催で開催しました。

- ア 日 時 令和6年6月11日(火) 14:00~17:10
- イ 会 場 横浜産貿ホール1F マリネリア
- ウ 参加者 神奈川県立磯子工業高校等 18校 35名(前年度:20校 37名)
会員企業等 49社 49名(前年度:57社 57名)
懇談時間を確保するため50社限定で行った(当日1社欠席)
- エ 成果についてのアンケート
時期 令和7年1月(49社にFAX送付)
結果 回答32社、事後接触あり97件、うち採用内定予定あり17社
(前年度:事後接触あり49件、うち採用予定あり9件)

(4) ものづくりの魅力を伝える事業

出前講座・工場見学の開催

神奈川県内の高校生及び職業技術校の訓練生に対し、企業の紹介、ものづくり産業・中小製造業の果たす役割や、中小企業が求める人材などをテーマに講座を開催、工場見学と一体で開催しました。

[第1回]

- (ア) 実施校:神奈川県立東部総合職業技術校(横浜市鶴見区寛政町28-2)
- (イ) 開催日:令和6年5月29日(水) 9:15~14:40
- (ウ) 参加者:23名
チャレンジプロダクトコース、セレクトプロダクトコース、精密加工エンジニアコースの受講生23名及び担当教員3名、
横浜市4名(午後のみ参加)、事務局2名
- (エ) 見学先工場及び講師(①午前 ②午後)
①株式会社オーバル 横浜事業所長 新國 誠治氏 管理部 次長 池田 祐輔氏
②株式会社室伏製作所 代表取締役社長 室伏 守氏
- (カ) 事業内容:①流量計専門メーカー ②ベアリング保持器専門メーカー

[第2回]

- (ア) 実施校:神奈川県立翠嵐高校定時制(横浜市神奈川区三ツ沢南町1-1)
- (イ) 開催日:令和6年7月12日(金) 14:20~16:00

- (ウ) 参加者：36名
 神奈川県立翠嵐高等学校(定時制)1年～4年生36名、教諭10名、通訳2名
 横浜市1名、市工連3名
- (エ) 見学先：森永製菓株式会社 鶴見工場（鶴見区下末吉2丁目1-1）
- (オ) 講師：森永製菓株式会社 東京支社営業4部部長 村岡 大氏
 東京支社営業4部 床鍋 龍信氏
- (カ) 事業内容：菓子（キャラメル・ビスケット・チョコレート等）、食品（ココア・ケーキミックス等）、冷菓（アイスクリーム等）、健康（ゼリー飲料等）の製造、仕入れ及び販売

[第3回]

- (ア) 実施校：神奈川県立横須賀南高校（横須賀市佐原4-20-1）
- (イ) 開催日：令和6年10月3日（木）10：00～11：30
- (ウ) 参加者：43名
 神奈川県立横須賀南高校(就職希望の1年生)36名、教諭4名、
 横浜市1名、市工連2名
- (エ) 見学先：日清オイリオグループ株式会社横浜磯子事業場（磯子区新森町1番地）
- (オ) 講師：総務課主任 井手 桂介氏
- (カ) 事業内容：油脂事業、加工食品・素材事業、ファインケミカル事業 等

[第4回]

- (ア) 実施校：神奈川県立東部総合職業技術校（横浜市鶴見区寛政町28-2）
- (イ) 開催日：令和6年11月27日（水）10：00～12：00
- (ウ) 参加者：29名
 チャレンジプロダクトコース 8名、セレクトプロダクトコース 6名、
 精密加工エンジニアコース 5名、溶接・板金コース 2名 引率 4名
 計 25名
 横浜市2名、市工連2名 合計 29名
- (エ) 見学先：株式会社オースズ（横浜市港北区新吉田218）
- (オ) 講師：代表取締役 鈴木 瑞貴氏他
- (カ) 事業内容：金型の設計及び製造、試作・金型及びプレス加工、精密機械加工製品の製造・組立、ヒンジ関連製品の設計開発及び製造・組立、電子機器の設計製作・組立 等

[その他：テクニカルショウヨコハマ2025の見学対応] 《新規》

- (ア) 実施校：神奈川県立磯子工業高校（横浜市磯子区森5丁目24-1）
- (イ) 開催日：令和7年2月5日（水）10：30～11：30
- (ウ) 参加者：51名（機械科1年生）引率 6名
 横浜市 5名、市工連2名 合計 64名
- (エ) 内容：県立磯子工業高校から見学の依頼があり、ただ見学をするのではなく中小製造業に対する理解を深めることを目的として、テクニカルショウヨコハマの出展者に協力を仰ぎ、各ブースに来場した高校生との質疑応答をお願いした。

(5) 技術者育成支援事業

中小製造業者がその従業員に、技術水準の向上、技能・技術の承継を推進し、中小製造

業者における人材確保及び人材育成に資することを目的として、業務上必要な技能検定資格取得のための受検料、受検対策で受講した講習会等の費用を補助金として交付しました。

補助金交付企業 4社

(6) PR 動画作成支援事業《新規》

中小企業における人材確保を目的として、若者に対する製造業等の理解を深め、興味を持てるようなPR動画を作成し、見てもらうことで製造業等への若者の就職を促進し、ものづくりの担い手となる人材の採用を行うためのPR動画制作費用の一部を補助金として交付しました。

また、制作した動画は市工連のホームページ上に企業PRとして掲載しています。

補助金交付企業 3社

(7) 横浜市就職サポートセンター事業等への協力

横浜市経済局雇用労働課が実施する「横浜市就職サポートセンター事業」に協力し、市工連メールマガジンを活用してインターンシップ受入れを会員企業に呼びかけました。

(インターンシッププログラムは年2回(7月、11月)の実施)

神奈川県産業労働局の事業「就職応援セミナーand面接会」の参加企業募集の周知も行いました。

II 産業振興施設の管理運営

1 横浜産貿ホールの管理・運営事業

横浜産貿ホール小展示室と事務室の老朽化した空調機を更新しました。

利用状況は、前年と比較してほぼ横ばいであるが、大口リピーターの撤退や利用日数、利用形態が縮小されたため収入は減少しています。

2 試作用賃貸スペース(鳥浜トライ&トライアルステージ:T3)事業

鳥浜 T3 施設の開所後初の2階事務所内エアコン交換工事を行い、入居者の利便性を高めました。

利用状況については、入居が今年度に10年を経過する区画について再公募を市工連HPで行い、新規希望者がおりませんでしたので入居審査会を書面にて開催し、継続使用(A区画:令和6年10月～、BCD区画:令和7年1月～)が決定しました。

III 市工連及び地域工業会等の活性化

1 委員会の活動(総務、政策、事業・企画、広報・産学、雇用・環境の5委員会)

地域工業会代表が意見交換をおこない、課題解決に反映されるよう各委員会を開催しました。

5委員会の開催延べ回数:9回

2 基盤整備事業(産業振興に関する課題の掌握、提言、対応策の実施)

(1) 横浜市と当連合会等との施策検討会の運営

横浜市の中小企業振興策の立案・実施に向け、具体的かつ実効性の高い施策を検討・協議する施策検討会を開催しました。

(2) 産業振興に関する提言、調査、研究

行政機関等の産業振興施策に反映されるよう、施策検討会を活用し、各地域工業会からの振興施策、企業経営及び立地環境の改善等に関する意見・要望を集約し、「令和7年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書」としてまとめ、横浜市長に提出しました。

ア 提出日 令和6年10月25日(金)

イ 場 所 横浜市庁舎

ウ 出席者 横浜市長、経済局長、市工連会長、各地域工業会会長ほか

エ 要望書概要

(ア) 大項目：①操業環境の改善、②販路拡大、③人材確保・育成、
④ものづくりの活性化に対する支援、⑤その他

(イ) 重点要望事項 4項目 12件

(ウ) 一般要望事項 14項目 34件

3 地域工業会・事業会の活動支援

11の地域工業会・事業会に対し、広報謝金・特例協力金・広報活動等補助金として計16万円と、合わせて会員数に応じて市工連協力謝金の助成を行いました。

4 横浜青年経営者会の活動支援

横浜青年経営者会への助成金として20万円を交付しました。

5 情報発信事業

(1) インターネットを活用した情報提供

ア ホームページの運営

イ メールマガジン「市工連ニュース」の配信

23回配信（令和6年4月1日第535号～令和7年3月17日第557号）

配信先 工業会会員等約1,900件

(2) 機関誌等の発行

ア 機関誌「よこはま市工連」の発行

年間2回発行

令和6年7月（第90号）2,200部 / 令和7年2月（第91号）2,000部

イ 情報紙「市工連かわらばん」の発行

年間6回発行 各回2,000部配布

令和6年4月（5月休刊）（第206号）から令和7年3月（第211号）まで奇数月発行

ウ 記念誌「市工連40周年記念誌」の発行

令和7年3月 2,500部

(3) 一斉ファックス及びメールマガジンでの情報発信

全会員への周知のために、一斉ファックスやメールマガジンのツールを利用し、情報の発信に努めました。

6 すぐれたアイディア提案者表彰

各企業において、技術開発、生産性の向上、経費節減等で「すぐれたアイディア」を提案し、企業の発展に貢献した従業員を表彰しました。

被表彰者 5社 6件/6名（9ページ「別表」のとおり）

7 会員企業の交流

会員企業同士の情報交換・交流の機会創出のために、施設見学会及び懇親会を実施しました。

また、地域工業会の枠を超えて委員会委員の交流を図る目的で開催していた委員会開催後の懇親会も実施しました。

環状南線工事現場の視察会の開催

日 時： 令和6年11月27日（水）13：15～17：00

場 所： 横浜環状南線工事現場

参加者： 20名

内 容： 環状南線工事現場(桂台トンネル、公田インターチェンジ(仮称)、公田笠間トンネル、栄インター・ジャンクション(仮称))を見学

8 会員サービス事業

「災害共済」等、会員企業や従事者を対象とした各種福利厚生事業を行うとともに、本会独自のPL保険の加入促進を図りました。また、会員サービスの向上につながる団体割引等の取りまとめをしました。

IV 法人運営

総会、理事会、委員会等の開催など、団体運営に努めました。

1 総会、理事会、委員会等

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
4月23日 (火)	第1回 広報・産学 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・「よこはま市工連（第90号）」について ・広報関係の実績について ・ホームページについて ・その他 	産業貿易セ ンタービル 小展示室
4月24日 (水)	第1回 政策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度横浜市に対する予算要望の回答について ・令和7年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書の策定について 	シルクセン ター小会議 室
5月27日 (月)	第1回 事業企画・ 雇用環境 合同委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度事業について（報告） ・令和6年度新規事業について ・令和6年度施設見学について 	産業貿易セ ンタービル 小展示室
6月7日 (金)	第1回 総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度第1回理事会・定時総会の議案について ・令和6年度第2回理事会の議案について 	産業貿易セ ンタービル 小展示室
6月24日 (月)	第1回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業報告 ・令和5年度決算報告 	ローズホテ ル横浜
6月24日 (月)	総会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業報告 ・令和5年度決算報告 	ローズホテ ル横浜
6月24日 (月)	第2回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度市工連委員会の委員 	ローズホテ ル横浜
8月6日 ～ 8月23日	施策検討会	地域工業会委員15人、政策委員4人、横浜市係長職以下2人、IDEC2人	シルクセン ター 中会議室 シルクセン ター 大会議室

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
9月24日 (火)	第2回 政策委員会	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度施策検討会の報告について 令和7年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望について その他 	産業貿易センタービル 小展示室
10月9日 (水)	第2回 総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> 40周年記念式典について その他 	産業貿易センタービル 小展示室
10月23日 (水)	第2回 広報・産学 委員会	<ul style="list-style-type: none"> 「よこはま市工連（第91号）」について 広報関係の実績について 市工連設立40周年記念誌について 他 	産業貿易センタービル 小展示室
2月17日 (月)	第2回 事業企画・ 雇用環境 合同委員会	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度事業について 令和7年度事業について その他 	シルクセンター 大会議室
3月12日 (水)	第3回 総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度第3回理事会・総会に諮る議案の確認 その他 	産業貿易センタービル 小展示室
3月27日 (木)	総会	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度事業計画（案）について 令和7年度予算（案）について その他 	産業貿易センタービル 8階会議室
3月27日 (木)	第3回 理事会		

2 市工連設立40周年記念講演会及び式典祝賀会（新年賀詞交歓会）《新規》

設立40周年を迎え記念講演会を開催し、式典祝賀会では贈呈基準を満たした方へ感謝状の贈呈を行いました。地域工業会会員企業に参加の呼びかけを行いました。

日 時 令和7年1月30日（木） 15：00～17：45

記念講演会 15：00～

式典祝賀会 16：00～

会 場 ロイヤルホールヨコハマ

参加者数 180名

3 地域工業会・事業会 事務局長会議

4月16日、5月21日、6月18日、7月16日、9月17日、10月15日、11月19日、12月17日、2月18日、3月18日の10回会議を開催し情報伝達等を行い、市工連と地域工業会との情報交換・連携を図りました。

別表

第41回すぐれたアイデア提案者表彰
被表彰者とアイデア

(会社名 50音順・敬称略)

(5社 6件/6名)

No	企業名	所属 氏名	アイデアの名称 成果
1	荒木工業 株式会社	品質保証グループ 主任 堀川 哲也	封印機能付広口CRキャップの開発 子供の誤飲防止を目的に、「封印付広口CRキャップ」を開発したことは、一般的に改ざん防止機能のある農薬用キャップにCR機能を付加し、安全・安心な製品を市場に提供したものである。
2	海洋電子工業 株式会社	機構設計担当 原 陽一郎	SOLIDWORKSにおけるコネクタ部等のモデリングの共有化 機構設計で培ったノウハウを活かし、CADソフトによる図面作成時に使用する複数の部品図を、複数の設計者が共有できるような仕組みを考案し、機構設計グループ全体の大幅な作業時間短縮を可能にした。
3	海洋電子工業 株式会社	技術部設計2課ソ フトウェア 設計担当 松雪 のぞみ	「mpstat コマンド」で取得したログのデータ加工とグラフ作成 ソフトウェア設計で培ったノウハウを活かし、業務の中で必要となったログ情報のデータ加工とグラフ表示において、非常に煩雑な作業に対して改善方法を熟考し、作業時間の短縮とヒューマンエラーの低減を達成した。
4	三宝精機工業 株式会社	製造部 部長 照井 雅也	ロボットきさげの開発 人力できさげ作業をしていた工程を産業用ロボットに電動きさげを持たせる事により、均一な速度での作業を可能にし作業時間短縮と効率化が期待できることとなった。
5	竹澤工業 株式会社	調達グループ 高橋 直美	O-リング在庫管理における工数の削減 メーカーにて在庫を持ち、発注に合わせて納品してもらっていた“O-リング”というパッキンを「事業継続計画」の観点から、メーカー3社にて調達、手配をすることとし、それぞれの数量を管理し、管理表を1つにまとめて効率化したことにより確認の時間が短縮され、年間で約50時間の管理工数の削減になった。
6	株式会社 吉岡精工	生産部製造 櫻井 毅	工程集約によるワンタッチホルダ加工時間54%削減 自らの技能向上に努め「ワンタッチホルダ」の精度及び加工工法を工夫したことにより加工工数削減による加工時間短縮など企業業績向上に大きく寄与した。